

PC 300GL
(Type 6278/6288)

SA88-7018-00
(英文原典 : 37L2168)

ソフトウェアについて
(Windows 98 モデル)



PC 300GL
(Type 6278/6288)

SA88-7018-00
(英文原典 : 37L2168)

ソフトウェアについて
(Windows 98 モデル)



— お願い —

本書をお読みになり、本書がサポートする製品をご使用になる前に、必ず、A-1ページの付録A、『プログラムのご使用条件の表示』およびB-1ページの付録B、『特記事項および商標』をお読みください。

第 1 版 (1999 年 8 月)

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミング、およびサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、IBMがこのようなIBM製品、プログラミング、およびサービスを、必ずしも日本で発表する意図であることを示すものではありません。

原 典： 37L2168
IBM Personal Computer
About Your Software
Windows 98, Applications,
and Support Software
発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社
担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1999.8

©Copyright International Business Machines Corporation 1999. All rights reserved.

Translation: ©Copyright IBM Japan 1999

目次

本書について	v
第1章 添付ソフトウェアの概要	1-1
導入済みソフトウェア	1-2
Software Selections CD に収録のソフトウェア	1-4
第2章 初めての始動	2-1
本製品の初めての始動	2-2
始動する前に必要なこと	2-2
Windows 98 セットアップ・プログラムの実行	2-3
Access IBM の使用法	2-5
オンライン・ブックの表示方法	2-6
本体の電源切断	2-6
第3章 Software Selections CD の使用法	3-1
CD の機能	3-2
CD の始動	3-3
Software Selections ユーティリティーの使用法	3-4
第4章 トラブルシューティング	4-1
Norton AntiVirus for IBM	4-2
ConfigSafe	4-3
IBM Enhanced Diagnostics (診断プログラム)	4-6
IBM Product Recovery CD の使用法	4-7
オペレーティング・システムおよびサポート・ソフトウェアの回復	4-7
始動順序の変更	4-8
第5章 その他のオペレーティング・システムの導入	5-1
付録A. プログラムのご使用条件の表示	A-1
付録B. 特記事項および商標	B-1
特記事項	B-1
商標	B-2

本書について

本書は、ご使用のコンピューター資料を補足するものです。今後参照するときのために、本書は他のコンピューター資料と一緒に保管しておいてください。

本書には、本製品に付属のソフトウェアについての一般情報が記載されています。

本書は、以下のような構成になっています。

- 第1章、『添付ソフトウェアの概要』には、本製品に付属のソフトウェアについての一般情報が記載されています。
- 第2章、『初めての始動』には、本製品を初めて使用するときに関係する情報と、ソフトウェア機能のいくつかを理解するための情報が記載されています。
- 第3章、『Software Selections CD の使用法』では、*Software Selections* CD で提供されるソフトウェアの導入または再導入について説明しています。
- 第4章、『トラブルシューティング』には、トラブルを解決するためのヒントと情報が記載されています。
- 第5章、『その他のオペレーティング・システムの導入』では、他のオペレーティング・システムおよびサポート・ソフトウェアの導入について説明しています。
- 付録A、『プログラムのご使用条件の表示』には、IBM プログラムのご使用条件を表示する手順が記載されています。
- 付録B、『特記事項および商標』には、法律上の特記事項および商標の情報が記載されています。

第1章 添付ソフトウェアの概要

本製品には、Microsoft®Windows® 98¹、アプリケーション・プログラム、診断ツール、およびデバイス・ドライバーといったさまざまなソフトウェアが付属しています。これらのソフトウェアには、*初期導入済み*のものと、*Software Selections* CD に収録されているものがあります。これらのソフトウェア (Microsoft Windows 98 以外) は、「IBM プログラムのご使用条件 (保証適用外プログラム用)」のもとにライセンスを受けています。プログラムのご使用条件の表示については、本書の付録Aを参照してください。

この章の内容

導入済みソフトウェア	1-2
Software Selections CD に収録のソフトウェア	1-4

¹ Microsoft Certificate of Authenticity は、本製品に導入されている Windows 98 ソフトウェアが Microsoft Corporation から合法的にライセンスを受けていることを保証するものです。

導入済みソフトウェア

Windows 98 のほかに、導入済みソフトウェアには、以下のものが含まれています。

- **Access IBM。** IBMによって提供されるソフトウェアの導入、日付と時刻の設定、プリンターのセットアップ、オンライン・ドキュメントの表示、ライセンス情報と保証の表示を行うことができる中央ロケーション。
- インターネット・エクスプローラは、Microsoft Web ブラウザーの更新版です。インターネット・エクスプローラは、イントラネットまたはワールド・ワイド・ウェブ (WWW) をナビゲートするのに使用できるツールです。

注: インターネット・エクスプローラを使用できるようにするには、イントラネットまたは WWW (あるいはその両方) に接続しておく必要があります。WWW への接続やインターネット・エクスプローラについて詳しくは、本製品に付属の Microsoft Windows マニュアルを参照してください。

- 出荷時導入済みフィーチャーのデバイス・ドライバー

導入済みソフトウェアについて詳しくは、2-1ページの第2章、『初めての始動』を参照してください。

重要:

1. 初期導入済みソフトウェアのバックアップ・ディスクセットは、本製品には付属していません。ただし、*Software Selections* CD には IBM 初期導入済みプログラムとデバイス・ドライバーのほとんどが入っています。*Software Selections* CD の使用方法については、3-1ページの第3章、『*Software Selections* CD の使用方法』を参照してください。

さらにバックアップの目的で、Microsoft Windows 98 オペレーティング・システムが、*Product Recovery* CD で提供されています。オペレーティング・システムを再導入する必要がある場合は、*IBM Product Recovery* CD を使用してください。(Windows 98 オペレーティング・システムおよび初期導入済みソフトウェアのディスクセットは、IBM から入手することはできません。) Windows 98 の再導入の詳細について

は、4-7ページの『IBM Product Recovery CD の使用法』を参照してください。

2. 更新されたデバイス・ドライバーなどは、WWW (<http://www.ibm.co.jp/download.html>) などでも入手できます。詳細は「IBM サービスのご案内」を参照してください。

Software Selections CD に収録のソフトウェア

IBM *Software Selections* CD には、IBM 導入済みプログラムとデバイス・ドライバのほかに、ソフトウェアが提供されています。必要に応じて、どのプログラムを導入するか決めてください。

以下は、IBM *Software Selections* CD に収録して提供されるソフトウェアの一部です。CD に入っているソフトウェアは、変更されることがあるので、以下のリストとは異なる場合があります。IBM *Software Selections* CD には、Windows NT Workstation 4.0、Windows 95、および Windows 98 用のソフトウェアが収録されています。IBM *Software Selections* CD について詳しくは、3-1ページの第3章、『Software Selections CD の使用法』を参照してください。

CoSession 手元の PC から別の場所にあるもう一台の PC を、モデムまたは LAN を経由して、自由に操作できるようにする「リモート・コントロール機能」を提供するソフトウェアです。

IBM Enhanced Diagnostics

IBM Enhanced Diagnostics を使用して、本製品のハードウェア（および一部のソフトウェア）コンポーネントをテストできます。IBM Enhanced Diagnostics プログラムの実行について詳しくは、4-6ページの『IBM Enhanced Diagnostics (診断プログラム)』を参照してください。IBM *Enhanced Diagnostics* デイスケットの作成と使用については、*ユーザズ・ガイド* を参照してください。

IBM Global Network ダイアラー

このソフトウェアを使用すれば、IBM Global Network を通じてインターネットに接続することができます。

Netscape Communicator

Netscape Communicator を使用して、イントラネットまたは WWW をナビゲートすることができます。Netscape Communicator は、電子メール、ニュース・

グループ、および WWW の最新の機能のサポートを含む、一連のインターネット機能を提供します。

Norton AntiVirus for IBM

Norton AntiVirus for IBM を使用して、本製品からウイルスを検出して除去することができます。詳しい説明と導入の手順については、4-2ページの『Norton AntiVirus for IBM』を参照してください。

一部のモデルには、さらに i.Share などのソフトウェアが付属しています。

i.Share

1 台のサーバー上の単一のインターネット接続を、複数のクライアント・コンピューターで共用することを可能にするソフトウェアです。

すべてのオペレーティング・システムについてすべてのソフトウェアが使用できるわけではありません。ご使用のオペレーティング・システムにどのプログラムが使用できるか確認するには、*Software Selections CD* を参照してください。*Software Selections CD* は、Access IBM から始動することができます。詳細は、2-5ページの『Access IBM の使用法』を参照してください。

第2章 初めての始動

この章は、本製品を初めて使用するときに役立つ情報を記載しており、次のことを説明しています。

- コンピューターを初めて始動する前に必要なこと、および始動した後に起こること
- 以下の内容について
 - Access IBM からの情報へのアクセス、および操作方法
 - オンライン・ブックの表示方法
 - コンピューターを安全に終了する方法

この章の内容

本製品の初めての始動	2-2
始動する前に必要なこと	2-2
Windows 98 セットアップ・プログラムの実行	2-3
Access IBM の使用法	2-5
オンライン・ブックの表示方法	2-6
本体の電源切断	2-6

本製品の初めての始動

Windows 98 に初めてアクセスするときは、その前に Windows 98 セットアップを完了しておく必要があります。

始動する前に必要なこと

Windows 98 セットアップ手順を始める前に、次のものを用意する必要があります。

- 本製品に付属の Windows 98 のマニュアル (この章に記載されている情報よりも詳細な情報が必要な場合)
- Microsoft Certificate of Authenticity (Windows 98 のマニュアルの表紙に添付されています) のプロダクト ID 番号
- ネットワーク管理者からのネットワーク情報 (該当する場合)
- プリンターのモデルと、プリンターが使用するポート (プリンターが本製品に直接接続されている場合) についての情報

Windows 98 セットアップ・プログラムの実行

セットアップ・プログラムをまだ実行していない場合は、コンピューターを始動したときにセットアップ・プログラムが表示されます。プログラムは、必要に応じて、選択したり情報を入力するよう求めるプロンプトを出します。以下の注に示されている情報より詳細な情報が必要な場合は、Windows 98 のマニュアルを参照してください。

注:

1. セットアップの中で、Windows 98 のライセンス条項を承諾することを示す必要があります。また、Certificate of Authenticity のプロダクト ID 番号の入力を求めるプロンプトが出されたら、その番号を入力する必要があります。Certificate of Authenticity は、Windows 98 のマニュアルの表紙に添付されています。
2. セットアップが完了し、システムを再始動すると、Windows 98 のデスクトップが表示され、「Windows 98 へようこそ」ウィンドウが開きます。このウィンドウには、次のオプションがあります。
 - 今すぐ登録: ご使用の Windows 98 ソフトウェアを Microsoft に登録したい場合には、このオプションをクリックします。(これを行うには、モデムが取り付けられている必要があります。)
 - インターネットへ接続: インターネット接続をセットアップしたい場合は、このオプションをクリックします。
 - Windows 98 について: 次の事項に関する情報にアクセスするためには、このオプションをクリックします。
 - コンピューター入門
 - Windows 98 の概要
 - Windows 98 の新機能
 - コンピューターのメンテナンス: 最適なパフォーマンスが得られるように本製品の設定を調整したり、あるいは定期的なメンテナンスを設定したい場合は、このオプションをクリックします。
3. できるだけ早いうちに、*IBM Enhanced Diagnostic* ディスケットを作成してください。この起動可能な診断プログラム・ディスクは、コンピューターに関する問題を特定するのに役立ちます。IBM Enhanced Diagnostics プログラムの実行について詳しくは、4-1ページの第4

章、『トラブルシューティング』を参照してください。IBM Enhanced Diagnostics のプログラム・ディスクットの作成については、ユーザーズ・ガイドを参照してください。

Access IBM の使用法

Access IBM は、以下のことを行うための中心となる場所です。

- IBM *Software Selections* CD を始動して、1-4ページの『Software Selections CD に収録のソフトウェア』にリストされている追加ソフトウェアを導入する。
- 診断ディスクを作成する。
- *IBM プログラムのご使用条件* の表示
- 次のようなセットアップ作業の実行
 - 時刻と日付の設定
 - 使用環境を快適にするための情報の表示
- 次のようなオンライン・ブックの表示
 - *機能解説書*
- WWW で、IBM の製品と技術サポートについての情報が記載されている IBM Web ページをオープンする。このオプションを使用するためには、インターネットに接続しておく必要があります。

Access IBM は、デスクトップの一部として実行されるよう設計されています。このプログラムは、コンピューターが再始動した後であっても、ユーザーがそれをオフにするまで、デスクトップ上で実行し続けます。

Access IBM を使用するには、次のようにします。

1. Access IBM がオープンしていない場合は、Windows「スタート」ボタンをクリックします。次に **Access IBM** までスクロールして、クリックする。
2. Access IBM を使用して作業を実行したり、情報を入手したりするためには、一般的に以下のように行います。
 - a. メニューにリストされているカテゴリーの 1 つをクリックする。
 - はじめに
 - カスタマイズ
 - ヘルプ
 - ライセンス情報と保証の表示

各カテゴリーの下にカテゴリーに固有のメニューが表示されます。

- b. カテゴリー・メニューで、トピックをクリックする。該当する場合は、画面に表示される指示に従う。

オンライン・ブックの表示方法

オンライン・ブックを表示するためには、以下のことを行います。

1. 「Access IBM」の「ヘルプ」をクリックします。
2. 「ドキュメントの表示」をクリックします。
3. 表示したいオンライン・ブックを選び、ダブルクリックします。

注: オンライン・ブックの一部は、PDF ファイルで提供されています。これらの PDF ファイルを閲覧するためには、Adobe Acrobat Reader が必要です。Acrobat Reader の導入については、オンライン・ブックの中の「Adobe Acrobat の導入」を参照してください。

本体の電源切断

まだ保存していないデータを失ったり、プログラムを損傷したりすることのないように、本体の電源を切るときには、必ず、次の終了手順を実行してください。

コンピューターを終了するためには、次のように行います。

1. 作業中のデータをすべて保存します。
2. 開いているアプリケーションをすべて終了します。
3. Windows の「スタート」ボタンをクリックします。
4. 「Windows の終了」をクリックし、「電源を切れる状態にする」が選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。

次にコンピューターの電源を入れたときに、Windows 98 は、最後にコンピューターの電源を切ったときに開いていたウィンドウを復元します。

第3章 Software Selections CD の使用法

Software Selections CD からデバイス・ドライバーやその他のソフトウェアを導入または再導入する場合には、この章を参照してください。

この章の内容

CD の機能	3-2
CD の始動	3-3
Software Selections ユーティリティーの使用法	3-4

CD の機能

Software Selections CD には、Windows 95、Windows 98、Windows NT Workstation 4.0 用のデバイス・ドライバー、およびその他のソフトウェアが含まれています。

注: すべてのオペレーティング・システムについてすべてのソフトウェアが提供されているわけではありません。ご使用のオペレーティング・システム用に提供されているプログラムを表示するには、*Software Selections* CD を参照してください。

重要

Software Selections CD には、オペレーティング・システムは含まれていません。この CD は、お使いのオペレーティング・システムが本製品にすでに導入されていないと、使用できません。

この CD を使用して、次のことができます。

- CD-ROM ドライブを装備しているモデルの場合、いくつかのソフトウェアをこの CD から直接導入すること。
- *Software Selections* CD のイメージを、内蔵ハード・ディスク上に、または接続しているネットワーク・ドライブ上に作成し、そのイメージからソフトウェアを導入すること。
- CD から導入できないソフトウェアのディスケットを作成し、そのソフトウェアをディスケットから導入すること。

Software Selections CD は、使いやすいグラフィカル・インターフェースと、ほとんどのソフトウェアに対して自動導入手順を備えています。また、CD の機能を説明しているヘルプ・システムも用意されています。

Software Selections CD に収録されているソフトウェアは、Access IBM 中の「IBM プログラムのご使用条件 (保証適用外プログラム用)」の条件でライセンスを受けています。(A-1ページの付録A、『プログラムのご使用条件の表示』を参照してください。)

CD の始動

Software Selections CD を使用するには、CD-ROM ドライブに *Software Selections* CD を挿入します。*Software Selections* CD のユーティリティーが自動的に始動します。

ご使用のコンピューターの CD-ROM の自動始動機能が使用不可に設定されている場合は:

1. *Software Selections* CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. Windows の「スタート」ボタンをクリックし、次に「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
3. 次のように入力します。

```
e:¥swselect.exe
```

(ここで、*e:* は、CD-ROM ドライブ名です。)

4. **Enter** を押します。Software Selections メニューが表示されます。
5. 希望のオプションを選択して、その後は画面の指示に従います。

あるいは、Access IBM が導入されていれば (初期導入済)、

1. *Software Selections* CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. Access IBM の中の「カスタマイズ」をクリックします。(Access IBM を開くには、2-5ページの『Access IBM の使用方法』を参照してください。)
3. 表示されたメニューの中の「アプリケーションの導入」をクリックします。
4. Software Selections メニューが表示されます。

ソフトウェアの導入が終わったら、Windows の「スタート」メニューの「プログラム」からアクセスできます。ほとんどのソフトウェアには、サポート資料がオンライン・ヘルプに組み込まれています。また、オンライン資料が提供されているものもあります。

Software Selections ユーティリティーの使用法

Software Selections ユーティリティーは、*Software Selections* CD に含まれています。*Software Selections* CD の始動方法については、前節を参照してください。

Software Selections ユーティリティーを使用するには:

1. Software Selections メニューの中で、導入するソフトウェアのチェック・ボックス (□) をクリックして、チェック・マーク (√) を付けます。
2. ソフトウェアを選択したら、「インストール」をクリックします。導入されるソフトウェアのリストが表示されます。
3. 導入処理を開始するには、「OK」をクリックします。導入するソフトウェアを変更するには、「キャンセル」をクリックします。
4. 画面に表示される指示に従って、ソフトウェアの導入を完了してください。

注: *Software Selections* CD を始めて起動するときは、プログラムのインストールの画面に表示されるソフトウェアのうちいくつかには、予めチェック・マーク (√) が付けられていることに注意してください。そのまま「インストール」をクリックすると、それらのプログラムが導入されます。

第4章 トラブルシューティング

この節には、コンピューターの保守と回復についての情報が記載されています。本製品には、ユーザーの役に立つ、以下のものを含むいくつかのツールが提供されています。

- Norton AntiVirus for IBM
- ConfigSafe
- IBM Enhanced Diagnostics
- IBM Product Recovery CD

この章の内容

Norton AntiVirus for IBM	4-2
ConfigSafe	4-3
IBM Enhanced Diagnostics (診断プログラム)	4-6
IBM Product Recovery CD の使用法	4-7
オペレーティング・システムおよびサポート・ソフトウェアの回復	4-7
始動順序の変更	4-8

Norton AntiVirus for IBM

Norton AntiVirus for IBM プログラムは、コンピューターからウィルスを検出して除去する総合的なウィルス対策プログラムです。Norton AntiVirus for IBM プログラムを導入するには、次のように行います。

1. *Software Selections* CD を始動します。(始動方法については、3-1ページの第3章、『*Software Selections* CD の使用法』を参照してください。)
2. メニューが表示されたら、「**Norton AntiVirus for IBM**」のチェック・ボックス (□) をクリックして、チェック・マーク (✓) を付けます。
3. 「インストール」をクリックします。
4. 導入されるソフトウェア・タイトルが表示されたら、「OK」をクリックします。

プログラムの導入後、その設定値を変更する、あるいは確認する場合には、次のように行います。

1. Windows の「スタート」ボタンをクリックします。
2. 「プログラム」 「**Norton AntiVirus**」 「**Norton AntiVirus**」の順にクリックします。
3. 「Norton AntiVirus」ウィンドウで、「オプション」をクリックします。
4. 画面の上部にあるタブをクリックして、設定値に対して必要な変更を行います。変更内容を保存するためには、変更を行ったウィンドウごとに「**OK**」をクリックしてください。
5. 「Norton AntiVirus」のメイン・ウィンドウに戻り、「スケジューラ」をクリックします。設定を変更したい場合は、ウィンドウ内の変更したい設定値 (イベント) をダブルクリックして必要な変更を行って、「**OK**」をクリックしてください。
6. 新しいウィンドウが表示されます。なにに変更を行って、それを保存したい場合は、このウィンドウで「**OK**」をクリックしてください。

サポート文書はオンラインで提供されます。この文書にアクセスするには:

1. Windows の「スタート」ボタンをクリックします。
2. 「プログラム」 「Norton AntiVirus」 「Norton AntiVirus 情報」 「表示」の順に選択します。
3. 「リファレンス・ガイド」または「ヘルプ」を選択します。

注: 事前に、Adobe Acrobat Reader を導入する必要があります。

ConfigSafe

ConfigSafe プログラムは、総合的なシステム構成情報の記録および回復のツールです。このプログラムは、デスクトップが損傷したり、使用できなくなったり、あるいはスタートできなくなった場合にユーザー（またはサポート担当員）がさらに簡単にシステムを復元できるようにする機能を提供します。

ConfigSafe プログラムの特長には、次のものがあります。

- メニュー方式のグラフィカル・インターフェース。
- スナップショット機能。この機能は、システム構成情報を定期的なスケジュールで自動的に取り込んで保存します。この情報には、システム・ファイル、ハードウェア構成、ファイルのバージョン、ネットワーク接続、レジストリー情報が含まれます。
- 構成復元機能。この機能を使用すると、ご使用のシステムを数秒で直前の（または出荷時導入済み）構成に復元することができます。
- UNDO 機能。この機能を使用して、最後に復元された変更を取り消して、直前の構成に戻すことができます。
- SOS (DOS 復元ユーティリティ) 機能。この機能を使用して、Windows 98 のデスクトップにアクセスできない場合にシステムを復元することができます。
- 基本システム構成に対して（意識的あるいは無意識に）行った変更の自動追跡。
- レポート機能。この機能を使用して、システム構成変更に関するレポートを生成（さらに表示または印刷）することができます。レポートは、こ

こ 1 週間以内に発生したか、あるいは出荷時導入済み構成以降の変更のリストなど、重要な情報を提供することができます。

これらのレポートは、システムのトラブルシューティングを行う上で役立ったり、問題を解決する際に役立てるためにサポート担当が表示したり、fax で見ることができます。

- リモート・アシスタンスを得るための他のプログラム (たとえば、CoSession) と一緒に稼働する能力。
- 時間のかかる作業 (たとえば、構成情報のバックアップやデータの収集) の自動実行。
- ハードウェアまたはソフトウェア変更を行う前に現行のシステム設定値を取り込むための簡単な方法 (ポイント&クリック)。この方法により、変更が行われたときに問題が発生した場合に即時に回復手段が提供されます。
- 特定のニーズを満足させるカスタマイズ可能な機能。

ConfigSafe は、特に新しいアプリケーションまたはアダプターを導入した後で問題が発生した場合に役立つトラブルシューティング用のツールです。システム構成を変更する前に、ConfigSafe を使用して現行の、稼働中の構成のスナップショットをとってください。そうしておく、コンピューターが構成ファイル内の変更によって使用不能になった場合にその構成に簡単に戻ることができます。

ご自分では問題を解決できず、システム管理者の援助が必要な場合には、ConfigSafe を使用して、最新の構成変更についてのレポートを生成してください。システム管理者は、このレポートに記載された情報を使用して、問題の解決に役立てることができます。

ConfigSafe プログラムを導入するためには、次のように行います。

1. *Software Selections* CD を始動します。(始動方法については、3-1ページの第3章、『*Software Selections* CD の使用法』を参照してください。)
2. メニューが表示されたら、「**ConfigSafe**」のチェック・ボックス (□) をクリックして、チェック・マーク (√) を付けます。
3. 「インストール」をクリックします。

4. 導入されるソフトウェア・タイトルが表示されたら、「OK」をクリックします。

プログラムが導入された後でアクセスするためには、次のように行います。

1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. 「プログラム」 「**ConfigSafe**」 「**CONFIGSAFE**」の順に選択します。

サポート文書がオンライン・ヘルプ・システムに組み込まれています。オンライン・ヘルプにアクセスするには:

1. Windows の「スタート」ボタンをクリックします。
2. 「プログラム」 「**ConfigSafe**」 「**CONFIGSAFE**」 「ヘルプ」または「ユーザー・マニュアル」の順に選択します。

IBM Enhanced Diagnostics (診断プログラム)

IBM Enhanced Diagnostics は、オペレーティング・システムから独立して実行される診断プログラムです。*IBM Enhanced Diagnostics* は、*Product Recovery* CD から実行することができます。さらに、*Software Selections* CD から、この診断プログラムのディスクットを作成することができます。診断プログラムおよびユーティリティー・プログラムを実行するためのユーザー・インターフェースは、WaterGate Software 社の PC Doctor によって提供されています。

このプログラムを使用して、本製品のハードウェア（および、一部のソフトウェア）構成要素をテストすることができます。このテスト方法は通常、他のテスト方法を利用できない場合、またはハードウェアに関連していると思われる問題を特定できなかった場合に使用します。

IBM *Product Recovery* CD から IBM Enhanced Diagnostics を実行するには、次のようにします。

1. IBM *Product Recovery* CD を CD-ROM ドライブに挿入する。
2. 本製品を再始動する。本製品が CD から始動しない場合は、始動シーケンスを変更する必要があります(4-8ページの『始動順序の変更』を参照)。その上で、ステップ 1 から 2 を繰り返す。
3. メイン・メニューがオープンし、3 つのオプションが表示されます。
「システム・ユーティリティー」を選択する。
4. 新しいメニューがオープンし、システム・ユーティリティーを実行するためのオプションが表示されます。
 - 診断プログラムの実行
 - システム情報
5. 障害を追及するために、診断プログラムを実行するには、「診断プログラムの実行」を選択します。現行のコンピューター構成を表示するには、「システム情報」を選択する。

IBM *Software Selections* CD から IBM *Enhanced Diagnostics* ディスクットを作成する手順については、*ユーザーズ・ガイド* を参照してください。

IBM Product Recovery CD の使用法

IBM *Product Recovery* CD が本製品とともに提供されているので、ハード・ディスク障害または Windows 98 ファイルへのその他の損傷が生じたような場合に、Windows 98 および初期導入済みアプリケーションとデバイス・ドライバを再導入することができます。

注： 回復プロセスは、基本区画（ドライブ C）に保管されたすべての情報を削除します。可能な場合は、このプロセスを開始する前に、データをバックアップしておいてください。

ご使用のコンピューターのハード・ディスクは、一つの FAT32 区画が設定され出荷されています。基本区画が FAT16 または FAT32 である場合は、Windows 98 用の *Product Recovery* CD は正しく動作します。

重要

基本区画が FAT16 または FAT32 でない場合は、区画が無効で FDISK コマンドを使って再区分する必要があるという旨のメッセージが表示されます。*Product Recovery* CD 上で FDISK コマンドを実行するには、コマンド・プロンプトで FDISK と入力します。基本区画を削除し、*Product Recovery* CD を CD-ROM ドライブに入れたままにし、コンピューターを再始動します。*Product Recovery* CD はハード・ディスクを正しく区分します。

注： Microsoft Office 2000 Personal が付属しているモデルには、このプログラムの CD が別途同梱されています。このプログラムは、*Product Recovery* CD には含まれていません。

オペレーティング・システムおよびサポート・ソフトウェアの回復

出荷時導入済みオペレーティング・システムおよびソフトウェアを回復するには、次のステップに従ってください。

1. 構成ファイルおよびご自分で作成したファイルのバックアップ・コピーを作成します。バックアップを作成していないファイルはすべて、失われます。

2. CD-ROM ドライブに *Product Recovery* CD を挿入します。
3. コンピューターを再始動し、画面に表示される指示に従います。この CD からコンピューターが始動しない場合は、始動順序を変更し(次節の『始動順序の変更』を参照してください。)、上記ステップ 2 ~ 3 を実行します。
4. ウィンドウがオープンし、以下のオプションが表示されます。
 - フル・リカバリー: ハード・ディスクを再フォーマットし、すべてのファイルを復元します。
 - 部分リカバリー: ハード・ディスクを再フォーマットし、Windows 98 とすべてのデバイス・ドライバを復元します。
 - システム・ユーティリティー: 「システム・ユーティリティー」メニューを表示します。
5. 必要なオプションを選択し、画面の指示に従う。
6. 回復が完了したら、*Product Recovery* CD を取り出して、コンピューターを再始動します。
7. 始動順序を変更した場合は、必ず、元に戻してください。

始動順序の変更

コンピューターがこの CD から始動しない場合は、装置構成ユーティリティーで始動順序を変更する必要があります。次のステップに従って、始動順序を変更してください。

1. コンピューターを再始動します。
2. 装置構成ユーティリティーのプロンプトが画面に表示されたら、**F1** を押します (装置構成ユーティリティーのプロンプトは、数秒間しか画面に表示されません。 **F1** は、素早く押してください。)
3. 装置構成ユーティリティー・メニューから「始動オプション」を選択します。
4. 「始動オプション」メニューから「始動順序」を選択します。
5. 画面に表示された始動順序を書き留めます。この情報は、回復処理を完了した後で元の始動順序を復元するのに必要となります。

6. 「基本の始動順序」の「主始動デバイス」を CD-ROM ドライブに変更します。
 7. 装置構成ユーティリティー・メニューに戻るまで **Esc** を押します。
 8. プログラムを終了する前に、装置構成ユーティリティー・メニューから「設定を保存する」を選択し、**Enter** を押してください。
 9. 装置構成ユーティリティーを終了するためには、**Esc** を押して、画面の指示に従います。
- 注: *Product Recovery* CD を使い終わったら、必ず、元の始動順序を復元してください。

始動順序の変更

第5章 その他のオペレーティング・システムの導入

Windows NT Workstation 4.0、Microsoft Windows 98 または Windows 95 の導入または再導入を行う場合は、ソフトウェアまたはデバイス・ドライバーが必要になることがあります。ハードウェア特有のソフトウェアは、*Software Selections* CD に収められています。(*Software Selections* CD に収録されているデバイス・ドライバーにアップデートがあった場合には、WWW の <http://www.ibm.co.jp/download.html> から入手可能となります。)

オペレーティング・システムを導入するにあたっては、前もって、最新のフィックス・パックや CSD など入手しておいてください。オペレーティング・システムの製造元に問い合わせるか、または、可能であれば、製造元の Web サイトを調べて、それら入手してください。

オペレーティング・システムを導入するには、オペレーティング・システムおよびフィックス・パックや CSD (ある場合) に付属の資料を参照してください。次に、3-1ページの第3章、『*Software Selections* CD の使用法』を参照して、デバイス・ドライバー等を導入してください。

注: すべてのオペレーティング・システムについてすべてのソフトウェアが提供されているわけではありません。ご使用のオペレーティング・システム用に提供されているプログラムを表示するには、*Software Selections* CD を参照してください。

付録A. プログラムのご使用条件の表示

「IBM プログラムのご使用条件 (保証適用外プログラム用)」は、初期導入済みソフトウェアの Access IBM で見ることができます。プログラムのご使用条件を参照するには、次のことを行ってください。

1. Windows 「スタート」ボタンをクリックする。
2. Access IBM までスクロールし、クリックする。
3. Access IBM で、「ライセンス情報と保証の表示」をクリックする。
4. 「ライセンス情報の表示」をクリックする。

Access IBM をハード・ディスクから削除している場合、IBM *Software Selections* CD に入っているライセンス情報を表示するには、Software Selections プログラムで「ライセンス情報」をクリックします。IBM *Software Selections* CD について詳しくは、3-1ページの第3章、『Software Selections CD の使用法』を参照してください。

付録B. 特記事項および商標

この付録には、IBM 製品の可用性、特許、および出願中の特許のほか、商標情報の法的な特記事項が記載されています。

特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31

AP事業所

IBM World Trade Asia Corporation

Intellectual Property Law & Licensing

本書で紹介している IBM 以外の Web サイト・アドレスは、お客様の便宜のために記載しており、IBM がこれらのサイトを推奨することを意味するものではありません。IBM は、本書で紹介する IBM 以外の Web サイトまたは IBM Web サイトのリンクを通じてアクセスする他の Web サイトの内容または使用に関して一切責任を負いません。

商標

次の用語は、米国およびその他の国における IBM 社の商標です。

PC 300

HelpCenter

IBM

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Lotus SmartSuite は、米国およびその他の国における Lotus Development Corporation の商標です。

他の会社名、製品名、サービス名は、他社の商標またはサービス・マークである場合があります。



Printed in Japan

1999年8月

日本アイビーエム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12



SA88-7018-00